

通信制課程入学式式辞 令和3年4月11日(日)

校庭の緑が鮮やかに輝きを増し、爽やかな春の営みを感じる今日のよき日に、令和3年度第69回愛媛県立松山東高等学校通信制課程の入学式及び開講式を挙げていただけますこと、とても喜ばしく感じます。

さきほど入学を許可いたしました128名の皆さん、ご入学おめでとうございます。本校通信制課程は73年の歴史を持つ、愛媛県で唯一の公立通信制課程であります。「丁寧な添削所見と温かい声かけ」をモットーとして、皆さんを応援したいと思います。在校生はもとより教職員一同、皆さんを心から歓迎いたします。

通信制教育のある生活、いわゆる通教生活を新たに始める皆さんに、お願いしたいことがあります。

その一つは、「自分に対する評価」についてです。

人間誰しも、困難なことから逃げ出したくなったり、自分には無理だと思い込んだりします。そんな自分をだめだと思うことも、ネガティブに受け止めることも、しないでください。自分自身を否定的にとらえてしまうと、いろんなことがマイナスに見えてしまいます。皆さんは、今、本校通信制で学ぶことを決め、この場にいらっしゃいます。立派なことです。そのことを、そう決意した自分を、まず誉めてあげてください。そうして、それぞれ異なる環境の中、今日までしっかりと生きてきて、同じ決意をした仲間も誉めてください。

次の段階として、毎日早起きをする、毎日散歩をする、毎月決めた分だけ本を読む、スクーリングには必ず出席するといった、小さな目標を決めて実行し、それを達成してみましよう。学習においても、まずはここまで、次には少し高めの目標、というように一歩一歩進み、そこまで進むことができれば、自分を誉めてあげてください。

これは、スモール・ステップ、という考え方で、アメリカの心理学者であるバラス・フレデリック・スキナーによって提唱されたものです。これならできる、という小さな目標でも、決めたことを忘れず実行することは簡単ではありません。だからこそ、自分の意思で決めたことをやれた、という達成感を大切に、誉めながら、自分の成長を見つけてください。このような心の持ちようは、自主・自律の精神を育むために、大事な拠り所となるはずですよ。

二つ目が、「他者への思い」ということです。

人間誰しも、多くの人に支えられ、助けられ、勇気付けられて、今の自分があります。家庭、職場、学校、どんな場所でも、自分に関わる方々に感謝の心をもっていただきたい。通教生活は、自学自習を基本としていますが、本校の教職員が皆さんを精一杯サポートします。家族の支えもあるでしょう。そして、同じ立場で努力をしている仲間がたくさんいます。お互いに思いやる仲間、とても大事な存在です。思いやりの心は、まず相手の様子や気持ちをきちんとくみ取るところから始まります。他人も自分も大切に、生命の尊さを自覚し、感謝と思いやりのある健全な心を養ってほしいと思います。

これらのことを心に留めて、入学生の皆さんが、この松山東高等学校通信制課程で、夢に向かって大きく伸びゆかれることを願っております。

さて、この式典は、令和3年度開講式でもございますが、在校生の皆さん、今日からいよいよ新年度が始まります。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な制約や負担があった中、勉学や学校行事によく頑張ってくださいました。今年度になっても状況が大きく好転しているわけではないですが、この一年間の経験で、安全を確保しながら、効果的に学ぶ手段もいくつか見えてきていると思います。年度の始めに当たり、決意を新たにするとともに、新入生や仲間との友情を尊重した、次の一歩を進めてほしいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆さま及び御臨席を賜りました皆様に、心からのお祝いと感謝を申し上げます。本校通信制課程に学ぶ全ての皆さんが、友垣とともに感動や喜びを味わいながら、充実した生活を送ってくださることを願ひまして、式辞といたします。